

痛風の元凶 血中の尿酸を漢方薬で制す 発作の起る前に漢方で早めの対処を

尿酸が痛風の元凶

痛風は、体内の老廃物の一つである尿酸が関節にたまって起こる病気です。通常、体内にできる尿酸は尿や便と一緒に排泄されるため、血液中の尿酸の量は常に一定に保たれています。正常な尿酸性のレベルは男性で二・四〜六・四mg/dl、女性では一・六〜五・二mg/dlとされています。

血中の尿酸量が増えた状態が「高尿酸血症」です。高尿酸血症が長く続くと突発性の痛風関節炎をくり返し起こすようになります。やがて尿酸塩が関節内にたまって瘤のような痛風ができ、慢性関節炎、関節奇形、腎尿酸結石、腎機能障害などを引き起こします。

漢方の痛風対策

痛風の治療ではまず血中の尿酸値を低下させることです。尿酸値を低下させるには尿酸の生成を抑えるとともに、排出を促進することも重要です。尿酸という代謝老廃物は組織に尿酸塩という細かい結晶を作って炎症反応がおこったり、腎臓に結石を作ったりします。

この結晶や結石を漢方的にみると

●活血化痰利湿薬
(かっけつかたんのりじつやく)
血の巡りをよくして水分代謝を改善します。大黃(ダイオウ)、丹参(タンシン)、田七人参(タンシチニンジン)、山慈古(サンジコ)などが尿酸の排出に有効です。代表的な処方方は「霊田七(れいでんしち)」です。

漢方療法推進会「霊田七」
五〇〇粒入(一ヶ月分)

一〇、二九〇円



最後に食事の注意点です。

- ① 毎日。水やお茶を二〇〇〇ミリリットル以上飲みましょう。
 - ② 低プリン体食品、低脂肪、低カロリー、低タンパクの食事により肥満の解消に努めましょう
 - ③ 野菜、果物などのアルカリ性食品を多く取りましょう。
 - ④ 高プリン体食品(動物性内臓、肉類のスープ、鰯、蛤、蟹など)は控えましょう。
 - ⑤ ビールは控えましょう。
 - ⑥ 塩分は一日六g以内。
- 以上を心がけて、痛風を予防・治療に努めて下さい。

「霊田七」などについてのご相談ご質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております



痛風の症状を和らげるには体の水分代謝をよくすることが大切です。中国でよく使われる処方には次のような薬があります。

●利湿健脾薬(りしつけんぴやく)

胃腸の働きをよくして水分代謝を改善します。これに用いられる生薬では黄耆(オウギ)、白朮(ビャクシュツ)、防己(ボウイ)、茯苓(フクリョウ)などが尿酸の生成を抑え、尿酸の排出を促します。代表的な処方方は「防己黄耆湯(ぼういおうぎとう)」です。



「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試ください

マイクロダイエット正規取扱店

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>